

国立大学法人神戸大学大学院システム情報学研究科と 連携・協力に関する協定を締結します

さんだ里山スマートシティでは官民共創の枠組みで地域の課題解決に取り組んでいます。この度、三田市と国立大学法人神戸大学大学院システム情報学研究科は、スマートシティに関する研究・教育を推進し、システム情報学の適用による三田市の地域課題の解決を通して、イノベーションの創出、および、課題解決人材の育成に資することを目的として、連携・協力に関する協定を締結します。

1 連携・協力の実施事項について

本協定に基づく連携・協力の実施事項は、以下の通りです。

- (1) 共同研究の推進
- (2) 課題解決型学習 (PBL) の設計・実施
- (3) 地域課題・データの共有
- (4) 研究者、学生の学術交流及び人材育成
- (5) 情報発信の相互支援及び共同実施
- (6) その他、本協定の目的遂行上必要な事項

2 協定による取り組み内容について

システム情報学研究科の大学院生が、IT スペシャリスト養成コースの PBL (Project-Based Learning) を通して、三田市の課題を解決するための PoC (Proof of Concept (概念実証)) の開発を行います。今回の取り組み内容は下記の 2 点です。

- (1) 位置情報を活用し、三田市の魅力を体感できるアプリを使ったまちのにぎわい創出をテーマにまちのブランド観光課と取り組みます。(課題の完成発表は 11 月ごろを予定しています)
- (2) 危機管理課と防災活動をされている NPO 法人ミラクルウィッシュのコラボレーションで、防災ノートの Web アプリ版の作成に取り組みます。利用者の属性による情報の絞り込み機能や防災用品のチェック機能など、Web アプリならではの使いやすさの実現を目指します。

※上記の他、本市の地域課題解決につながる共同研究や実証事業等の実施を検討します。

3 協定締結式

協定者：三田市・国立大学法人神戸大学大学院システム情報学研究科

日時：令和3年7月19日（月） 15：00～15：30

場所：三田市役所本庁舎3階市長公室

4 次 第

(1) 協定締結式

- ① 市長あいさつ
- ② 神戸大学大学院システム情報学研究科あいさつ
- ③ 協定書取り交わし
- ④ 写真撮影
- ⑤ 意見交換

(2) 主な出席者

【三田市】

市 長 森 哲男（モリ テツオ）

【神戸大学大学院システム情報学研究科】

神戸大学大学院システム情報学研究科長 大川 剛直 氏（オオカワ タケナオ）